

緑風会会報

2023年10月号

2023年
10月15日

🏆 秋季男子リーグ戦



昨

年度と同様に今回の秋季リーグ戦も栃木県の芳賀カントリークラブで開催されました。

結果は、5人×1日のスコア合計411ストロークでDリーグ全体の第4位となり、Dリーグ残留となりました。

一橋大学からは、4年の池田、3年の宇野・北林、2年の池澤・落合・小俣・曾根・本田の8名が大会に出場しました。

初日は晴天かつ気温も穏やかでしたが、最終日は台風13号の影響による大雨に見舞われ前半ハーフ途中での中止となりました。実施規定に則り、9/7の合計スコアによって順位が決定されました。

今夏、多くの部員がスコア面での成長を見せてくれ、レギュラー選考時点から活発な部内競争がありました。8月中旬からレギュラー陣一同Cリーグ昇格を真剣に目指し練習を重ねてきた一方で、大会直前に複数人が怪我やコンディション不良を原因に出場不可となるという苦難もありました。

今年度目標であったリーグ昇格を果たすことはできませんでしたが、Dリーグ全体の上位に入り、5人1日あたりの換算で今年度春季からは25打、昨年度秋季からは30打のスコア向上ができたことは次のリーグ戦に繋がる一定の成果であったと感じます。特に3年次期主将の北林、2年の池澤は、本番においても芳賀カントリーでのベストに近いスコアを出しチームに貢献してくれました。

今回のリーグ戦までは半年以上の時間がありますが、この期間でレギュラーメンバーがスキルアップをし、悲願のCリーグ昇格を達成してくれるという期待を抱いております。

文責 池田

🏆 秋季女子リーグ戦

昨

年度と同様に、群馬県のサンコーカントリークラブにて開催されました。

結果は、2人×2日間のスコア合計で366打で、12校中7位でEリーグ残留となりました。

一橋大学からは、私3年の小林、2年の井林、大塚の3名が大会に出場しました。中でも井林は1日目から78ストロークを記録するなど、目覚ましい活躍を見せてくれました。各々がこの試合で持ち帰った課題と向き合い、今後も精進していく所存です。

昨年度の秋季大会、今年度の春季大会から大幅にストロークを縮めることができ、今回も女子部のリーグ戦ベストスコアとなりました。持続的に成長していることは、女子部のますますの活性化に繋がっていると感じております。

女子部も勢いのある男子に負けじと日々切磋琢磨しております。来年度は、本格的にリーグ戦内での上位校目指し、部活動一丸となって練習に励む所存です。

今後とも、温かくも厳しいご指導ご鞭撻のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

文責 小林



高萩合宿（7月）



7/8-9にかけて高萩カントリークラブにて東北大学学生会ゴルフ部の皆様と交流合宿を開催いたしました。

以前から交流合宿を行っていましたが、コロナ禍により三年ほど中断し、今回はコロナ明け2度目の合宿となりました。

両大学ともに主将副将から初心者まで幅広く参加し、大変有意義な時間を過ごせました。

例年、この合宿でベストスコアを更新する部員が多くいることから「高萩ドリーム」という名称がつけられています。今年も多く部員が高いレベルでベストスコアやハーフベストを出していました。

何より、スコアを出さないといけないというプレッシャーから解放され、各々リラックスしつつも集中して自分のゴルフに取り組むことができ、またゴルフを心の底から楽しむことができました。

コース自体は北茨城に位置する阿武隈山地の中にあるため起伏が激しく、左右OBのホールが多いので決して簡単なコースとは言えませんが、部員一人一人の練習が実った結果、夏に向けて調子を上げてきたと思われます。

また、1日目のラウンド後には交流を兼ねての宴会を開催しました。ゴルフについてのみにならず、多方面に渡ってコミュニケーションを図ることができ非常に刺激を受けた次第です。

企画してくださった東北大学の皆様、ありがとうございました。今後ともよろしくお願いいたします。

文責 池澤

OBOG交流コンペ（7月）

7月22日に鹿沼カントリーにてOBOG交流コンペを開催いたしました。

今回は最年長のOB様が高津裕哉様(令和元年卒)と若手のOBOG様が参加してくださいました。

鹿沼カントリーは栃木県鹿沼市にあり、かの有名なゴルフ漫画「風の大地」に登場する主人公・沖田が腕を磨く舞台でもあります。また、鹿沼カントリーはコースメンテナンスが非常に良いゴルフ場で知られており、部員一推しのゴルフ場です。

コンペの結果は、三年で副将の宇野がトータル8オーバーで優勝しました。また、多くの部員が好スコアを出し、中にはアンダー出した部員もいました。

コンペを通じてOBOG様から激励していただき、部員一同目標に向かって邁進する次第です。

酷暑の中、参加していただいたOBOG様、改めて感謝申し上げます。そして、企画調整していただいた手塚智大様(令和五年卒)ありがとうございました。

今後も変わらぬご厚誼を賜りますようお願い申し上げます。

文責 池澤



☪ 夏合宿（8月）



8/1-3にかけて、群馬県のサンコーカントリークラブにて今年度の夏合宿を開催しました。

全日程において35℃近い暑さが予想されていたものの、初日は曇りとプレーのしやすい1日となりました。1年生にとっては初の合宿であり、最初は緊張が見られたもののいざラウンドが始まると真剣に一球一球打っていたのが印象的でした。

2日目は快晴となり、各々暑さ対策をしながらラウンドをし、1年生も少し慣れてきたのかスコアを数えていた部員もいました。夏合宿が例年より1ヶ月早く、なかなか練習やラウンド機会に恵まれない中で向上心を持ってゴルフに臨む1年生が多くいたことを嬉しく思います。

最終日は、上級生でコンペを行いました。1年生もスコアを自分で数えつつほとんどの部員がギブアップすることなくラウンドをしていました。上級生は、多くの部員がベストスコアを更新し、特に副将3年の宇野那月が71とアンダーでベストスコアを出すなど秋のリーグ戦に向けて仕上がっている状態が伺える夏合宿でした。

大学に入ってからゴルフを始めた部員が多い一橋大学ゴルフ部ですがこのように多くの部員が向上心を持って日々上達のために励んでおります。

また今年の夏合宿でも熱中症対策のドリンク等を緑風会の皆様からご支援いただきました。このように日頃から我々部員がゴルフに打ち込める環境にいられるのは、緑風会の皆様のご支援、ご理解、ご協力に他なりません。皆様からのご期待に応えられるよう部員一同これからも励んでまいります。

一橋大学ゴルフ部をこれからもどうぞよろしく願いいたします。

文責 小俣

☪ 那須キャディ合宿（8月）

8/16日から8/23日までの間、緑風会幹事長の吉川様のご紹介で、栃木県の那須ゴルフ倶楽部で泊まり込みのキャディアルバイトをさせていただきました。3年の諏訪原、2年の落合・曾根・本田の4名がお邪魔し、日中のアルバイト後は練習ラウンドまでさせていただきました。

言わずもがなではありますが、那須ゴルフ倶楽部は名匠・井上誠一の処女作としても知られている名コースです。自然の地形を生かしたアンギュレーションや高低差が効いた戦略性の高さ、冷涼地でしか体験できない洋芝、山岳地ならではの強い芝目のグリーンなど、どれを取ってもなかなか経験できないものであり、ラウンドを通して多くのことを学びました。

また、キャディ業務中も様々な業界で活躍されている社会人の方と密にコミュニケーションを取ることができ、とても貴重な社会勉強の機会でもありました。

若輩者である我々を暖かく迎え入れ、ご指導して下さった那須ゴルフ倶楽部関係者の皆様、そしてこのような非常に貴重な機会を設けていただいた吉川様に、この場をお借りして心から感謝申し上げます。

また機会がございましたら是非伺いたく存じますので、今後ともよろしく願いいたします。



文責 諏訪原



四大戦（8月）

8/23-25の3日間、東京大学、東北大学、北海道大学との四大戦が行われました。今年度は東北大学が主幹で、宮城県の杜の都ゴルフ倶楽部が会場となりました。

1日目は2人1組でベストボール採用のスクランブルマッチプレー、2日目はダブルスマッチプレー、3日目は個人ストロークプレーでの勝負でした。

一橋大の成績は1日目は3戦全勝、2日目も2勝を重ね、2位に6ポイント差をつけて首位となりましたが、最終日のストロークプレーで8人の入賞枠に4人食い込んだ東京大学に捲られてしまい、惜しくも2位となりました。

東北最長最難関を謳う杜の都ゴルフ倶楽部は、6700ydを超える長さで、OBは少ないもののバンカーやドッグレッグが生きた狭さが壁となり、なかなかスコアの出にくいコースでした。

その中でもダブルスを活かして勝ちを取れたことは良かったと感じています。特にベストボール方式は普段あまり行うことがないため新鮮で、攻めと守りの役割分担やラインを読めるパットなど、学びも多いラウンドができました。

四大戦は各校様々な戦力層の人が集まっており、一橋は大学からゴルフを始めた1年生4名を含む9名で参加しました。他大の人と成績を競う緊張感などを経験しつつ、裏ラウンドや大会後の食事会などでも交流をすることができ、参加者全員にとってとてもよい機会であったと思います。ここで学んだこと得たことを生かせるよう、夏以降も努力して参ります。

主幹運営を務めてくださった東北大学の皆様、ありがとうございました。
四大学のみなさん、今後ともよろしくお祈りします！

文責 諏訪原

八大戦（9月）

8/14・15の2日間、東京ゴルフ倶楽部にて八大学対抗戦が行われました。

4年池田、3年宇野・北林・諏訪原、2年井林・曾根の6名が出場し、一橋大学は初日432ストローク、2日目427ストロークの計859ストロークで8校中6位という悔しい結果になりました。

日本屈指の名門コースであり、来年には日本オープンが開催される素晴らしいゴルフ場で3日間プレーできたこと、また全国の優秀な学生とゴルフを通じて交流できたことは大きな財産となりました。長いラフや多くのバンカーに苦しみ、初日は1打差で最下位というスタートでしたが、2日目は2年の曾根が76ストロークを記録するなど粘りのプレーをしてなんとか6位に滑り込みました。

主幹運営を務めてくださった東京大学の皆様、ありがとうございました。

来年は上位に入れるように部員一同精進して参ります！

文責 北林





編集後記（緑風会会報創刊にあたって）

この度、緑風会会報を刊行する運びとなり、ここに記念すべき創刊号を発刊することができました。これも日々ゴルフ部に厚いご支援、応援をくださる緑風会会員の皆様のおかげであると感謝する次第です。

今年度より新入部員が23名が入部し、総勢68名の大所帯となりました。山王ゴルフセンターでの日々の練習や合宿はとても賑やかなものであり、特に合宿は、大型バスを新宿から手配するほどの規模で開催されております。

また、それぞれの部員は春秋リーグ戦にとどまらず、関東学生ゴルフ連盟が主催している月例試合や文部科学省大臣杯などに積極的に参加しております。各々まだまだ課題だらけではありますが、他校のゴルフ部員との交流を通じ刺激を受け、リーグ昇格やより良いプレーに向けて研鑽を積んでおります。

日々厚いご支援をいただいております緑風会会員の皆様に、こうしたゴルフ部の活動の様子や日々のイベントの様子などをできるだけリアルにお伝えする手段はないかと模索し、この緑風会会報を刊行させていただきました。夏休みは行事が多く、創刊号から盛りだくさんな内容となっ てしまいましたが、部員が切磋琢磨してリーグ昇格を目指している様子や、多種多様な部員のいるゴルフ部の今の魅力を月に一度のペースで発信できたらと考えております。

また、より良い会報作成のため、ご意見等ございましたら現役緑風会係へのメールを通してご教示いただけますと幸いです。

今後ともご支援、ご鞭撻のほど宜しくお願いいたします。

女子部主将・広報部
小林遥子